

# 「生きた」学びを 放送大学の面接授業

## 貴重な体験

### 「縄文土器作り」に挑戦！

面接授業は「是川遺跡から学ぶ考古学」と題して行われました。是川遺跡に関する調査・研究を通して、縄文文化や縄文人の暮らしについて理解を深めることが授業の主な狙いです。地元である青森県内のほか、遠くは岡山県や高知県からも学生が集まりました。

授業には、出土品の見学や縄文土器作りといった普段はなかなか体験できないような実習が組み込まれており、特に土



器作りの実習には「めったにできない貴重な体験ができた」「楽しかった」という声が多く寄せられ、学生たちの印象に強く残ったようでした。土器作りの過程では、粘土をひも状に伸ばして一段ずつ積み上げていく「輪積（わづみ）技法」に挑戦。出土品にもみられる技法ですが、意外と難しいようで学生たちは皆真剣な表情で取り組んでいました。

## 座学だけが学びじゃない！

縄文土器そのものへの理解を深めるだけでなく、考古学的な思考方法や観察方法を身に付けることもこの実習の大事な狙いの一つ。講師を務めた市川健夫学芸員は「実際に作ってみると、見ているだけでは気が付かなかった発見がたくさんあります。この実習を通して、土器を見た時に『きれいだな』と感じるだけにとどまらず、『どうやって作られたんだろう』という新たな視点で興味を持って

放送大学は自宅でも受講できる通信制大学。テレビやラジオを通して受ける放送授業のほか、実際に先生から教わる面接授業があります。面接授業の中には、その土地に根付く文化や歴史をひもときながら学びを深めてゆく「郷土色豊かな授業」が多いことも特徴で、学生たちからも好評を得ています。今回は昨年12月に2日間にわたって八戸市の是川縄文館で行われた面接授業の様子をご紹介します。その魅力に迫ります。

「りたい」と話します。

実際に手で触れて自分の目で確かめることで、座学では得られない発見に出合えたり学問の面白さを知ったりできるのは、面接授業ならではの魅力です。教科書だけでは分からない「生きた」学びを体験できるチャンスでもあるのです。

同館での面接授業は今年の12月1日（土）、2日（日）も行われる予定です。定員制なのでお申し込みはお早めに。受講には放送大学への入学が必要です。資料などはサテライトスペースや学習センターでも配布しているので、気軽に足を運んでみてください。



## まだある！ 郷土色豊かな 面接授業

青森県内では「是川遺跡から学ぶ考古学」のほか、「岩木山をめぐる自然と生活」「寺山修司 - 創作の原理をさぐる」「ハレー彗星と明治の青森天文学者」と題した面接授業も受講可能。まだ知らない地元の新たな一面を学んでみてはいかがでしょうか？

## 好きな場所で、 好きな学びを



畑雅之さん

是川縄文館のボランティアを務める畑雅之さんは、土器作り実習にも参加し学生たちをサポートしました。放送大学の学生でもある畑さんに、面接授業についてお話を聞いてみました。

Q. 面接授業の魅力はどこなところ？

好きなところへ赴いて好きなことを学び、その地域の特徴を肌で感じられることです。

Q. ボランティアの活動に生きること多いのでは？

はい。各地で土器の作り方が微妙に異なることは新鮮な発見でしたし、縄文文化そのものについての考察や資料の展示方法までも違いがあることを学びました。考古学の奥深さにより魅力を感じました。

Q. 入学を考えている人にメッセージを

好きなことを勉強できるだけでなく「楽しみ」にあふれていることが放送大学の魅力。面接授業で出会った学生仲間との交流は、学びを継続するモチベーションになります。あなたも仲間になりませんか？